

# 認知症高齢者グループホームグリーンハウスとちぎ事業計画書

## 1、事業の種類

- (介護予防) 認知症対応型共同生活介護 (定員18名)
- 共用型(介護予防) 認知症対応型通所介護 (定員 3名)

## 2、運営方針

### ●(介護予防) 認知症対応型共同生活介護事業

- ①入所者の認知症の進行を緩和し、安心して日常生活が送れるよう心身の状態を的確に把握し、個々に残された生活機能を見極めサービス提供に努める。
- ②入所者が生活の主体となり役割を持ち、個性を尊重して家庭的な雰囲気の中で日常生活が送れるように生活環境を整える。
- ③個々の入所者の状態に合わせた個別介護計画(ケアプラン)を作成し、内容及びサービスの提供方法について、入所者及び家族に分かりやすく説明をして同意の基にサービスを提供する。
- ④地域及び家族との連携を大切にし、地域の行事やかかわりを日常生活に取り入れるとともに、入所後も家族と入所者のつながりが保たれるような行事や働き掛けを積極的に行う。
- ⑤入所者の生命又は身体を保護するため、緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束その他入所者の行動を制限する行為を行わない。
- ⑥看護職員及び協力医療機関と連携し、入所者の健康管理及び健康状態の変化に応じた適切な対応を行う。
- ⑦感染症を予防・防止する体制を整備し、平常時から対策を実施するとともに感染症発生時には迅速で適切な対応を図る。また、感染症対策として洗面所等の清掃清潔、消毒(床・ベット・手すり等)、居室の換気、各設備等の維持、管理の徹底、流水と石鹸、アルコール手指消毒(手洗い・うがい励行)等を行い、職員が3密(密閉・密集・密接)を避け、感染源、媒介者にならないよう努め、清潔な環境づくりにより、利用者の健康管理を行う。
- ⑧事故報告書、ヒヤリはっをともに安全対策を行い介護事故防止、車両事故防止に努める。
- ⑨共同生活の中で落ち着いた生活が送れるよう、入所者や家族の希望に考慮した共用型認知通所介護計画の作成を行い、少人数対応サービスの特性を活かし、入所者一人ひとりの心身の状況を的確に把握し、生活相談等への援助、その他必要なサービス提供に努める。
- ⑩管理者は、契約の際に入所申込者又は身元引受人(家族等)に対し、重要事項説明書(事業所の概要、職員の配置状況、サービスの種類と利用料金、苦情の受付等)や事故発生時の対応についてマニュアルをもとに懇切丁寧に説明を行い、介護サービスの開始について同意を得るものとする。同意を得られた際には契約担当職員(説明者)と入所者または家族の署名・捺印をもって契約とし、双方で確認できるよう二部作成し一部ずつ保管する。

### ●共用型(介護予防) 認知症対応型通所介護事業

- ①要介護状態であり、認知症である高齢者(認知症の原因疾患が急性の状態にある方を除く。以下同じ)が、可能な限り在宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む

ことができるよう、小規模な生活の場の中で必要な日常生活上の介護及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身の機能の維持向上並びに利用者の家族の身体的、精神的負担の軽減を図ることとする。

- ②要支援状態であり、認知症である高齢者が、運動機能や栄養改善といった特定の機能改善を目指すものだけでなく、可能な限り在宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な支援及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身機能の維持回復を図るものとする。
- ③事業の実施にあたっては、関係市町村、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。
- ④感染症を予防・防止する体制を整備し、平常時から対策を実施するとともに感染症発生時には迅速で適切な対応を図る。また、感染症対策として洗面所等の清掃清潔、消毒（床・ベット・手すり等）、居室の換気、各設備等の維持、管理の徹底、流水と石鹸、アルコール手指消毒（手洗い・うがい励行）等を行い、職員が3密（密閉・密集・密接）を避け、感染源、媒介者にならないよう努め、清潔な環境づくりにより、利用者の健康管理を行う。

### 3、今年度運営目標

- ①（介護予防）認知症対応型共同生活介護 入居者延べ人員 6,205名（稼働率95%）
- ②共用型（介護予防）認知症対応型通所介護 利用者延べ人員 510名（稼働率65%）

#### 【重点目標】

##### (1) 人材確保と人材育成

- ・外国人、高齢者、障害者、無資格未経験者の受入を行う
- ・『業務見直し』を行うことで、効率化、無駄の削減、機器の活用をし、誰もが働きやすい職場環境を整える
- ・『指導マニュアル』に基づいた対応を行うことで、指導内容の改善や 個人評価、習得状況確認につなげる

##### (2) 業務継続計画（BCP）整備

- ・業務継続計画に沿った訓練の実施
- ・訓練からみえた課題の解決

#### 【事業所目標】

業務の見直しを行い、外国人、高齢者、無資格の未経験者でも働きやすい環境を整え、ケアの質の向上を目指す。

#### 【ユニット目標】

業務の見直しや改善を行い、心の余裕をもって利用者への対応できる時間を増やし、利用者からの満足度が得られるようなケアを目指す。

#### 4、各種会議

会議名	回数	招集	司会	参加職種	目的
職員 会議	月 1回	管理者	管理者 介護職員	管理者（計画作成担当者）、 看護職員、介護職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業運営上の連絡</li> <li>問題検討</li> <li>勉強会</li> </ul>
運営 推進会議 (共用型通所含)	年 6回	管理者	管理者	管理者（計画作成担当者）、 利用者家族、地区民生委員、 区長、市町村職員 連携事業所職員（やまうち）	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動報告</li> <li>連絡事項</li> <li>意見聴取</li> <li>勉強会（研修会）</li> </ul>
各種 委員会	月 1回	管理者	管理者 (委員長)	管理者、各委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全対策委員会</li> <li>感染症対策委員会</li> <li>高齢者虐待防止委員会</li> <li>災害時等業務継続（BCP）</li> <li>身体拘束適正化委員会</li> </ul>

#### 5、事業別勉強会内容予定表 ※⇒固定

月	内 容	月	内 容
4	緊急時対応について（救急対応手順等）※	10	感染症について（業務継続含）※
5	防災について（台風・水害）※ 災害時業務継続（BCP含）	11	安全運転（積雪・凍結時）について
6	熱中症について	12	リスクマネジメントについて
7	虐待について	1	身体拘束について
8	利用者の精神的ケアについて	2	利用者の身体的ケアについて
9	防災について（火災・地震）※ 災害時業務継続（BCP含）	3	新年度事業計画について※

## 6、年間行事予定

月	年間行事	月	年間行事
4	お花見ドライブ	10	運動会（室内）
5	新緑ドライブ	11	紅葉見学 お月見
6	バラ見学	12	クリスマス会
7	花火鑑賞	1	新年祝賀会 初詣
8	夏祭り（室内）	2	節分豆まき
9	敬老祝賀会	3	ひな祭り
【その他の行事】誕生会、自衛消防訓練、レクレーション等【大掃除】 年1回（12月） 【ボランティア】 尚生会ボランティア活動			

# 訪問入浴介護センターグリーンハウスとちぎ事業計画書

## 1、事業の種類

- 訪問入浴（月～金曜日、週5日稼働）

## 2、運営方針

- ①常に利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえ、必要なサービスを適切に提供する。
- ②契約に基づくサービス提供にあたり、利用者や家族に契約内容を理解してもらうよう重要事項の説明を経て、契約事項や事業内容の特徴などを説明し、内容の理解と同意を得られた際には契約担当職員（説明者）と利用者または家族の署名・捺印をもって契約とし、双方で確認できるよう契約書を二部作成し一部ずつ保管する。
- ③サービスの提供にあたっては、訪問入浴介護計画（介護予防訪問入浴介護計画）を作成し、利用者又はその家族に対しサービス提供方法について、わかりやすく懇切丁寧に説明をする。
- ④サービスの提供にあたっては、利用者の身体に接触する設備、器具その他の用品についてはサービスの提供ごとに洗浄、消毒したものを使用する。感染症に対して、マニュアルを基に手袋・マスク・エプロン等を着用し感染拡大を防ぎサービス提供に努める。また、手指消毒、手洗い、うがいを随時実施する。また、事業所内においても、清掃、消毒は随時対応していく。
- ⑤月1回勉強会を実施し職員の質の向上に努め、利用者に対しより良いサービスを提供するための意見交換を行うとともに、サービス提供に苦情が発生した場合、速やかに検討し業務改善を行う。
- ⑥居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターに定期的に訪問し、利用者の確保に努めるとともに、利用者についての情報交換等を行い連携を強め、より良いサービスの提供に努める。
- ⑦事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保険・医療サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努める。
- ⑧車両の運行及び、入浴中の事故発生に備え、対応マニュアルを作成し、全職員が高い安全意識を持って事業の実施にあたる。
- ⑨業務に使用する機材、車両は定期的に点検、消耗状態の確認を行い、サービス提供中のトラブルを予防する。
- ⑩事業所の職員は身だしなみと接遇に細心の注意を持って業務にあたり、定期的な接遇の教育を行う。

### 3、今年度運営目標

- ・利用者延べ人数 1,140名（予防、町委託含む）

#### 【重点目標】

##### (1) 人材確保と人材育成

- ・外国人、高齢者、障害者、無資格未経験者の受入を行う
- ・『業務見直し』を行うことで、効率化、無駄の削減、機器の活用をし、誰もが働きやすい職場環境を整える
- ・『指導マニュアル』に基づいた対応を行うことで、指導内容の改善や 個人評価、習得状況確認につなげる

##### (2) 業務継続計画（BCP）整備

- ・業務継続計画に沿った訓練の実施
- ・訓練からみえた課題の解決

#### 【事業所目標】

業務マニュアルの活用によって職員間の業務手順を一定に保ち、効率化を図る。  
統一された、質の高いサービス提供に繋げる。

### 4、各種会議

会議名	回数	招集	司会	参加職種	目的
職員会議	月 1回	サービス提供責任者	サービス提供責任者 介護職員	管理者(サービス提供責任者) 看護職員、介護職員	・事業運営上の連絡 ・問題検討・勉強会
感染症対策委員会	月 1回	サービス提供責任者	サービス提供責任者 介護職員	管理者(サービス提供責任者) 看護職員、介護職員	・問題検討 ・研修予定・報告 ・訓練の実施 ・勉強会
高齢者虐待防止委員会	月 1回	サービス提供責任者	サービス提供責任者 介護職員	管理者(サービス提供責任者) 看護職員、介護職員	・問題検討 ・研修予定・報告 ・勉強会
安全対策委員会	月 1回	サービス提供責任者	サービス提供責任者 介護職員	管理者(サービス提供責任者) 看護職員、介護職員	・問題検討 ・リスクマネジメント 検討・再発防止検討 ・事故・ヒヤリ確認
災害時業務継続委員会	月 1回	サービス提供責任者	サービス提供責任者 介護職員	管理者(サービス提供責任者) 看護職員、介護職員	・問題検討 ・研修予定・報告 ・訓練の実施 ・勉強会

## 5、事業別勉強会内容予定表

月	内 容	月	内 容
4	安全運転について（法令含）	10	業務でのリスクマネジメントについて
5	高齢者の虐待について	11	感染症について(業務継続含)※
6	防災について（台風・水害）※ 災害時業務継続（BCP 含）	12	冬季入浴車の使用確認について
7	脱水症について	1	入浴車トラブル時の対応
8	高齢者の特徴・健康管理について	2	高齢者の皮膚疾患について
9	防災について（火災・地震）※ 災害時業務継続（BCP 含）	3	新年度事業計画について※

# 小規模多機能型居宅介護 介護予防小規模多機能型居宅介護

## グリーンハウスやまうち事業計画書

### 1、事業の種類

●通い 15名 ●泊り 9名 ●訪問 365日 24時間 ●定員 25名

### 2、運営方針

- (1) 利用者が住み慣れた地域での生活が継続できるよう、地域住民との交流や地域活動の参加を図り、利用者の心身の状況や環境を踏まえて、通い、訪問、宿泊サービスを柔軟に組み合わせてサービスを提供する。
- (2) 利用者一人ひとりの人格を尊重、役割を持って家庭的な環境で日常生活を送ることができるようサービスを提供する。
- (3) サービスの提供にあたっては、小規模多機能型居宅介護計画に基づき、機能訓練及び日常生活に必要なサービスを提供する。また、要介護状態の軽減、悪化の防止に資するよう、目標を設定し、これを計画的に行う。
- (4) サービスの提供にあたっては、利用者または家族に対し、サービスの提供等について理解しやすいよう説明を行う。
- (5) 利用者が通いサービスを利用していない日には、可能な限り訪問サービスや電話連絡による安否確認を行い、居宅における生活を支えるためのサービスを提供する。
- (6) 提供するサービスの質の維持向上のため評価を行い、定期的に外部の者による評価を受けて、結果を公表、改善を図る。
- (7) 地域の福祉活動が継続的に発展していくために、地域住民の方と情報交換などができる活動の一つとして交流会等を実施する。
- (8) 感染症対策として洗面所等の清掃清潔、消毒（床・ベット・手すり等）、居室の換気、各設備等の維持、管理の徹底、流水と石鹸、アルコール手指消毒（手洗い・うがい励行）等を行い、職員が3密（密閉・密集・密接）を避け、感染源、媒介者にならないよう努め、清潔な環境づくりにより、利用者の健康管理を行う。
- (9) 介護事故防止の意識を日頃から高め十分に目配り気配りし危険予測しながら業務に努める。
- (10) 管理者は、契約の際に利用者又は家族等に対し、重要事項説明書（事業所の概要、職員の配置状況、サービスの種類と利用料金、苦情の受付等）や事故発生時の対応についてマニュアルをもとに懇切丁寧に説明を行い、サービスの開始について同意を得るものとする

### 3、今年度運営目標

- ①登録人数 年間平均登録者数 22名（稼働率 88%）  
 ②利用者延べ人数 264名（月平均登録者数×12か月） 介護度2

#### 【重点目標】

##### (1) 人材確保と人材育成

- ・外国人、高齢者、障害者、無資格未経験者の受入を行う
- ・『業務見直し』を行うことで、効率化、無駄の削減、機器の活用をし、誰もが働きやすい職場環境を整える
- ・『指導マニュアル』に基づいた対応を行うことで、指導内容の改善や 個人評価、習得状況確認につなげる

##### (2) 業務継続計画（BCP）整備

- ・業務継続計画に沿った訓練の実施
- ・訓練からみえた課題の解決

#### 【事業所目標】

新規利用者及び待機利用者確保の為、営業を強化継続し、安定したサービス提供を図るため、研修（内部・外部）機会を確保し、人材の確保、スキル向上に努めていく。

### 4、各種会議

会議名	回数	招集	司会	参加職種	目的
職員会議	月1回	管理者	介護職員	管理者、看護職員 介護職員	・事業運営上の連絡 ・問題検討 ・業務内容確認・勉強会・行事検討
運営推進会議	年6回	管理者	管理者	利用者、家族 住民代表、 市町村職員 有識者、所長 管理者、介護職員 連携事業所職員 (GHとちぎ)	・評価 ・要望 ・助言 ・勉強会（研修会）
各種委員会	月1回	管理者	管理者 (委員長)	管理者、看護職員 介護職員	・感染症対策委員会 ・高齢者虐待防止委員会 ・身体拘束適正化委員会 ・安全対策委員会 ・災害時業務継続委員会 (BCP)

5、事業別勉強会内容予定表 ※⇒固定

月	内 容	月	内 容
4	BCP マニュアルについて	10	感染症について※
5	業務マニュアルについて	11	安全運転・車輛の取り扱いについて
6	人材育成・指導について	12	緊急時の対応について（救急対応・AED）
7	熱中症・脱水症対策について	1	サービス評価について
8	KYT 研修について	2	地震、火災、避難時の対応について
9	事故・ヒヤリ事例検討	3	新年度事業計画書について※

6、年間行事予定

月	年 間 行 事	月	年 間 行 事
4	花見昼食会・ドライブ	10	芋煮会
5	創作クラブ・ドライブ	11	山内地区ふれあいまつり交流会 紅葉ドライブ・昼食会
6	青空昼食会・ドライブ	12	クリスマス会&忘年会、餅つき
7	運動会【室内】	1	元旦祝賀会、初詣&グルメツアー
8	夏祭り	2	節分
9	敬老祝賀会	3	ひなまつり
【その他の行事】 誕生会、自衛消防訓練、クラブ活動（音楽療法、カラオケ） 【中掃除】 毎月1回 【大掃除】 年1回（12月） 奉仕作業 年4回 【ボランティア】 尚生会ボランティア活動			